

公立大学法人長野県立大学
第1期中期目標の期間における業務の実績に
関する評価結果報告書
【参考意見書】

令和7(2025)年1月

公立大学法人長野県立大学評価委員会

本参考意見書は、法人運営全般の改善や教育研究の質の向上を目的として、評価結果報告書に記載された中期計画に対する評価コメントとは別に、法人への期待や要望、今後参考となる事項を取りまとめたものです。

大項目	小項目番号	項目の内容	内 容
1 人材育成の方向	2	発信力ゼミ (グローバル教養ゼミ)	グローバル化した現代世界を複眼的に捉えるための教養を形成する「グローバル教養ゼミ」は長野県立大学の特色ある授業であるが、受講者が少ない状況である。当該ゼミの魅力と有用性を学生に丁寧に説明し、受講者数の増加を図られたい。
2 入学者の受け入れ	16	健康栄養科学研究科の広報活動	大学院の入学者を確保するために、指導教員の専門分野に合致する学生を受け入れることも大切ではあるが、長野県の健康長寿をけん引するリーダー的人材養成の観点も重要であり、研究科の広報活動として県内外の関係機関への幅広い情報発信を心掛けていただきたい。
	18	他大学との単位互換	コンソーシアム信州の単位互換制は、学生の教育を通して県内の大学が連携を深めることができる大切なシステムである。コンソーシアム信州の授業履修生を増やしていただきたい。
3 教育の質の向上	20	学務システム等の活用	Web シラバスシステム、学修ツールシステム (Glexa)、学修支援ツール (Melly) などを導入し、学生の学修環境の利便性を向上させたことを評価する。今後は、これらのシステムを使って、学生が授業の予習・復習を主体的に行なえるようシラバスの改良などの工夫に取り組んでいただきたい。
	23	FD 研修	研修参加 1 回以上という目標達成だけに留まらず、全研修への参加を促すなど、更なる研修受講体制の強化に期待する。
7 国際交流	44	海外プログラムの研修先	海外プログラムの研修先として、長野県内の企業と関係が深い国を選び交流を図ることも大切と考える。
8 業務運営に関する目標を達成するためとるべき措置	49	SD 研修	研修参加 1 回以上という目標達成だけに留まらず、全研修への参加を促すなど、更なる研修受講体制の強化に期待する。